

小中一貫校 南アルプス市立若草中学校 校長室だより No.2 2022.7.8



大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい**児童生徒**の育成」

第1回 評議員会・関係者評価委員会 開催

	役職・所属	氏名
1	若草地区自治会会長	上野 久 様
2	前若草中学校長	河野 良一 様
3	主任児童委員（南地区）	深澤 美香 様
4	主任児童委員（北地区）	上野 恵美子 様
5	若中PTA副会長	五味 佳代子 様

先日、第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会が行われました。「評議員会」は、学校運営に関して保護者や地域住民の意向を反映しながら、より良い教育環境を整えるために（1～4の皆様）、また、「評価委員会」は、学校評価結果について意見を交わし、学校教育の向上を図るための会・組織（1～5の皆様）です。

今年も委員の皆様のご意見を反映させ「生徒が若中に通って良かった、保護者が通わせて良かった、教職員が勤務して良かったと思える学校」を目指して教育活動に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いたします。

【会の中で出された話題を紹介します】

- 生徒に「校長室どこですか」と聞いたら、「案内します」と連れてきてくれた。大変しっかりしていて感心した。昔の生徒はそういう対応はできなかった。
- 不登校の問題はどこの学校も大きな課題。本校は施設・設備も課題で空き教室が無い。一人で静かに自分を見つめる場所も必要。そういう中で友達に会いたいという気持ちにもなるかも知れない。
- 教職員の多忙化は以前から問題だった。「仕事をしていると安心するんですね」と答える職員もいた。「子どものためにやっているのに何が悪い」という気持ちも分からないではないが、管理職がやることを精選して、指導していくことが大事だと思う。
- 個別の指導や少人数の指導、学習サポート会の対象者は誰が決めるのですか。
→本人の希望、教員の判断、特別支援学級在籍の生徒など、色んなケースがあります。（内田教頭）
→家庭によっては、歓迎する場合もあるし、中には自分の子が特別に見られているみたいで嫌だと考える保護者もいます。（河野委員）
- SCのカウンセリングは毎日受けられますか。また、相談者は生徒ですか保護者ですか。
→SCは木曜日で、生徒と保護者両方対象です。希望者は多いです。（西海主幹教諭）



○『躍進～大志を抱け～』県No.1の学校!!!

「若中はどのような学校ですか」と問われたときに、「生徒が主体的に活動する学校です」と答えることが多くなってきました。

「躍進～大志を抱け～」のスローガンの下、活発な生徒会活動を繰り広げています。①文化継承（部活動、委員会、瑞穂祭、合唱）、②基礎をつくる（若中スタンダードの作成、実践）、③未来を考える

（SDGs、小学校とのつながり）を3本柱に、しっかりと感染症対策をしながら取り組んでいます。

素晴らしいのは「誰一人取り残さない」を目標に、若中内の活動に留まらず、小中一貫校の若小・南小、そして地域と関りながら、環境問題や平和についても考え、取り組んでいることです。

○中巨摩総体壮行会→応援されるチーム・人、心から応援できる人に!!!

中巨摩総体に先立ち、生徒会主催の「壮行会」が行われました。どの部も堂々とした態度・表情で、自分の部そしてこれまでの取組に誇りと自信を持っているように感じました。挨拶では「大会なので、もちろん



勝つことを目指しますが、それ以上に『応援されるチーム・人、心から応援できる人』を目指して欲しいと話しました。各部の「決意表明」、応援団と全校生徒が一体となつての「応援」、音楽部の「合唱」とどれも感動的で、一人ひとりの思いと『チーム若中』の絆の強さを感じた壮行会でした。

[総体等、各部の活躍の様子はPTA新聞に掲載予定です（7月発行）]

○教育実習末木七海先生から→先輩も認める『今の若中』!!!

3週間という短い間でしたが、温かく迎えてくださって本当にありがとうございました。みなさんの爽やかな挨拶や温かい言葉は私にとって元気の源で、卒業生の立場から見て、今の皆さんが若中生でいてくれることはとっても誇らしいです。私には「学校の先生になりたい」という小学校1年生からの夢があります。夢は自分をどこまでも動かしてくれる原動力になる、とっても凄いものです。今、夢を持っている人は大切にしてください。夢を持っていない人もきっとどこかで夢に出会います。その夢に出会った時は大切に夢に向かって少しずつ進んで行ってください。私も夢に向かって途中で迷ったり諦めたりしてしまいそうな時は何度もあります。ですが、一番大切な事は「どんな時でも自分を信じること」です。自分の可能性を信じて何事も楽しむ気持ちを忘れずに、沢山のことを経験してください。応援しています。



○プール開き→水泳とともに『自分の命は自分で守る』ことも学習しよう!!!



昨日「プール開き」を行い3年ぶりのプールが始まりました。感染症対策として、男子と女子を別の時間帯（入水を1/2に）にしたり、間隔を開け泳いだり、パティの組み方を工夫したりして授業を行います。

水泳の楽しさは、泳ぎながら**日常生活では味わえない浮遊感、自分を包む水の感触、また冷たさを味わえること**にあるように思います。海水浴やシュノーケリングなどでは潮の満ち引きやきれいな魚、動きの速い蟹など、自然に触れられることも大きな魅力です。ぜひ、夏だからこそ味わえる水泳や水辺の遊びに親しんでみてはいかがでしょうか。

一方で、毎年、水の事故により命を落とす人がいます。ぜひ、『**自分の命は自分で守る**』意識を高め、そのための判断力と具体的な方法も同時に身につけていきましょう。

【生徒配布用】カラー版は若中HPにアップしています。文責 河西 美代司

何でしょう？ PTA新聞で